

平成31年2月13日

学生各位

感染症に関するお知らせ

寮や合宿など集団生活の場では、感染症にかかるリスクが高くなります。
一人一人がその対策をすることが大変重要です。

まず、以下を確認してください。

- ・毎年必ず健康診断を受け、また2週間以上咳が続く時は必ず受診してください。
結核は、本学を含めた都内の大学で毎年報告されています。
- ・麻疹・風疹・おたふくかぜ・水痘の予防接種歴を確認して、それぞれ2回接種が済んでいない場合は接種をしましょう。
(ただし医学的理由で接種のできない場合はその限りではありません。)

なお、特に集団生活を送る方たちにとって注意が必要な病気の一つに、「髄膜炎菌感染症」があります。

この病気は、健康な人が誰でも感染する危険性があり、早期診断が難しく、さらに発症から24時間以内に死に至ることがある病気です。日本では、発症のピークが15～19歳です。しかし、ワクチン接種により予防することができます。

2018年6月より、寮など集団生活をされる方は、ワクチン接種が推奨されています。詳しくは、下記のページの「入寮希望の方へ 髄膜炎菌感染症について」をご覧ください。